

# 薬だつ知識

97

今回は曾於地域での行政との取り組みについてお話しします。

2024年度から鹿児島県後期高齢者医療広域連合の委託事業として実施している志布志地区の高齢者ふれあいサロンで、「薬との上手な付き合い方」をテーマに啓発講座を開いています。薬は健康を支える大切な存在ですが、使い方を誤ると体調を崩す原因にもなり得ます。正しい知識を得ることは非常に重要です。

講座では、加齢に伴う身体の変化について説明します。年齢を重ねると肝臓や腎臓の働きが弱まり、薬の代謝や

## 地域活動



薬に関する講座を開いている高齢者ふれあいサロン

排泄が遅くなるため、体内に薬が残ったりやすく、副作用が出やすくなります。そのため使用している薬の副作用をき

## 薬の情報講座で啓発

ちゃんと理解することが重要です。

また、高齢者は複数の病気で通院し、複数の薬を同時に服用するケースが多くあります。そのため、薬同士や食品との飲み合わせに注意が必要です。納豆や一部の飲み物が特定の薬の作用を変え、身近な飲食物や健康食品も油断できません。

薬を安全に使い続けるには、かかりつけ薬局の利用とお薬手帳の活用が欠かせません。薬の情報を1カ所で管理でき、重複や相互作用の予防に役立ちます。そのほか、薬の剤形や保管方法、なぜジェネリックは値段が安いのか、薬剤師の薬局外での業務や在宅医療での役割についても話します。

これまでに30カ所で開催、多くの方から「薬への理解が深まった」との声をいただいています。今後も地域の皆さまが安心して薬を使用できるよう、分かりやすく実践的な情報提供に努めていきたいです。

(そお薬剤師会 日野雅継)

令和7年12月2日  
97・地域活動